

令和6年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	IFMSA-Japan SCORA(国際医学生連盟 日本 性と生殖に関する健康と権利・HIV/AIDSに関する委員会)
実施事業名	STI Prevention Project
団体代表者	代表: 越智美則(令和7年度)、久保田真央(令和6年度) SCORA責任者: 白須桜花(令和7.6年度)
事業の目的	本事業は、未来の医療を担う医療系学生を対象に、HIV/AIDSをはじめとする性感染症(STI)について、教科書的な知識だけでなく、社会的背景や当事者が直面する課題等も含めた、実践的・経験的な知識を深め、主体的に考える機会を提供することを目的としています。 また、STIの主要な罹患年齢層である若年層の一員として、参加学生自身がSTI予防に関する理解を深めるとともに、同世代の友人や周囲の若者に向けた啓発活動を行い、自らも日常の中で予防行動を実践することを通じて、若年層全体の予防意識の向上を図ります。
事業の達成度	今年度は、対面とオンラインの両方で活動を行いました。エイズデー記念イベントやSCORA総会などを通じて、HIV/AIDSやその他の性感染症(STI)に関する学習の場を提供しました。 エイズデー記念イベントでは、社会的背景や当事者の声を取り入れた内容を扱い、参加者からは「教科書では得られない気づきがあった」との声が多く寄せられました。ただし、今回は自由記述形式の設問が多かったため、行動変化を定量的に把握することが難しかった点が課題として挙げられます。今後は、アンケート項目の見直しにも取り組んでいく予定です。 一方で、アンケート結果からは、性感染症について「学ぶ必要性を感じている」と答えた学生が多かったものの、「自分の知識は十分だと思う」と回答した割合はそれを下回っており、学習機会の提供に加え、知識の定着を図る取り組みの重要性が示唆されました。 また、SCORA総会では、プレコンセプションケアの視点からSTIを捉えることで、「自分ごととして考えやすくなった」との意見もあり、実践的な理解を深める貴重な機会となりました。 さらに、対面イベントにおいては参加型のワークショップの実施が難しかったという課題もありました。今後は他団体の取り組みを参考にしつつ、SCORA独自のワークショップの企画・実施を検討してまいります。 以上のことから、今後もSCORA Staffに対する正しい知識の提供と性感染症について考える機会の創出に加え、学んだことを外部へ発信する姿勢を育てることの必要性を強く認識しています。
対象となった人数(実数)	1. 苫小牧ピア・エデュケーション 延べ約120名 2. さっぽろレインボープライドへのブース出展 延べ約300名(一般参加者含む) 3. すこら喫茶店 札幌店 延べ約14名 4. ゆずりは学園ピア・エデュケーション 延べ約40名 5. 大三島ピア・エデュケーション 延べ約30名 6. SCORADIO 18名 7. SCORA 国際デー information:世界エイズデー Instagram 投稿リーチ数 約600名、いいね数 約33名 Facebook 投稿リーチ数 約50名 8. 世界エイズデー記念イベント 18名 9. AIDS文化フォーラム in NAGOYA 25名(一般参加者含む) 10. 旭川ピア・エデュケーション 延べ約100名 11. SCORA総会 延べ31名
事業実績	1. 苫小牧ピア・エデュケーション 実施日: 2024年4月 苫小牧工業高等専門学校を相手に、性の多様性、デートDV、ビル、コンドーム、性感染症をテーマとした講演を実施しました。前年と同様、事前に作成した講演映像を提供するオンデマンド形式を採用し、多くの生徒に視聴いただきました。 2. さっぽろレインボープライドへのブース出展 実施日: 2024年9月14日 さっぽろレインボープライドに参加する一般市民に、IFMSA-Japan SCORAおよびその活動を知ってもらうと同時に、I-J Staff自身が「性の多様性」や「性感染症」についての理解を深めることを目的として出展しました。 ブースでは、SCORAの活動紹介、生理用品の展示、一般の方からのメッセージ募集を行いました。また、性感染症に関する啓発として、メッセージカード3種(各200枚)、コンドーム約300個を配布し、正しい予防方法についての認知を促しました。さらに、性感染症をはじめとした性の健康についての知識を届けることを目的とし、SCORA活動をまとめたチラシ400枚を配布しました。多様な人々が集う場において、性感染症を個人の問題としてではなく、社会的なテーマとして捉える機会となりました。 3. すこら喫茶店 札幌店 実施日: 2024年9月15日 「すこら喫茶店」は、SCORA Staff同士の交流を深めること、性に関する話題への心理的ハードルを下げることで、多様な価値観を知り相手を尊重する姿勢を育むことを目的とした交流会です。 普段はオンラインで開催していますが、9月には対面開催が実現しました。今回は、SCORA内の3つのプロジェクトそれぞれに関連するテーマを設定し、スタッフ同士で自由に対話を楽しみました。STI Prevention Projectでは「『性感染症』を語ろう!」というテーマのもと、性感染症に対するイメージや考えをカジュアルに共有しました。 4. ゆずりは学園ピア・エデュケーション 実施日: 2024年10月19日 コロナ禍や台風の影響により長らく延期となっていた対面授業が実現しました。水の交換ゲームなどの体験型のワークを通して、性感染症についての理解を深める授業を実施しました。 5. 大三島ピア・エデュケーション 実施日: 2024年11月11日 大学生によるレクチャーや、ご協力いただいた産婦人科医の先生による講話に加え、男性器を模した発泡スチロールを用いたコンドームの装着実習も実施しました。また、授業の前後にアンケートを実施し、知識の定着状況を把握するとともに、授業内容の改善や感想の収集を行いました。参加した生徒からは、「とても分かりやすく、楽しかった」「丁寧で分かりやすい授業だった。」などの感想が寄せられました。 6. SCORADIO 実施日: 2024年11月14日 Zoomを用いたラジオ形式のオンラインイベントです。事前にSCORA Staffから匿名で性に関する質問や悩みを募集し、それに答える形で進めました。STI Prevention ProjectやSCORAの活動に関心を持ってもらうと同時に、SCORAを「性に関する悩みや疑問を気軽に話せる場」として広めることを目的としました。
具体的な活動内容	7. SCORA 国際デー information:世界エイズデー 実施日: 2024年12月1日 世界エイズデーに合わせて、HIV/AIDSに関する正しい知識の啓発と、差別・偏見の解消を目的とした情報発信を行いました。SNS投稿では、「制定の経緯」「HIV/AIDSの基

礎知識」「世界のアクション」「日本の取り組み」「自分から始めるアクション」の5つの観点から情報を発信しました。

厚生労働省およびエイズ予防財団のキャンペーンテーマに沿い、「知識を持つことは、偏見や差別の解消への第一歩である」というメッセージを発信しました。この活動を通じて、医療的な側面のみならず、社会的背景や偏見に目を向ける機会となりました。

8. 世界エイズデー記念イベント

実施日：2024年12月3日

厚生労働省および公益財団法人エイズ予防財団のキャンペーンテーマに沿って、「HIV/AIDSとSCORAの関係」「HIV/AIDSを取り巻く現状と課題」「医療系学生ができること」をテーマに学びの場を提供しました。

日本や世界における感染状況、治療法・予防法（PrEPを含む）の進歩によって新規感染者や死亡者が減少している現状を確認し、またHIV/AIDS対策の国際的ビジョンを踏まえ、今後の医療者としての役割についても考える機会となりました。

他団体で活動されている方や感染症診療に携わるSCORAの卒業生からのメッセージ紹介も行い、参加者の関心を深めました。後半には患者さんやその周囲の方の手記をもとにした学びの時間を設け、医学的知識だけでなく社会的背景についての理解も促しました。

参加者からは、「知っていると思っていたが知らないことが多かった」「感染症＝ふしだらという偏見が、生きづらさにつながっていると感じた」などの感想が寄せられ、意識の変化がアンケートからも見られました。

9. AIDS文化フォーラム in NAGOYA

実施日：2024年12月8日

第6回 AIDS文化フォーラム in NAGOYAに、日本薬学生連盟の学生とともに参加しました。

医療系学生として、包括的な性教育の重要性を社会に発信する機会として位置付け、事前にSCORAおよび日本薬学生連盟内で実施した意識調査の結果をもとに、「日本の性教育の課題と今後の展望」について発表しました。感染症の流行拡大が深刻化する中、患者に対する偏見や差別の背景には、性に関する正しい知識の不足や、相手を尊重する姿勢の欠如があると感じています。こうした課題に対し、人権の尊重を基盤とした包括的性教育の必要性を再認識しました。

また、市民の性に対するイメージや性教育への意識を直接聞く機会にもなり、今後の活動の方向性を考える貴重な学びとなりました。

10. 旭川 ピア・エデュケーション

実施日：2024年12月18日

旭川明成高校の1年生を対象に、性の多様性、避妊・感染症予防、ピルやコンドームの使用方法について講演を実施しました。感染症予防に関しては、実際にコンドームの装着を体験してもらい、実践的な理解を深める機会を提供しました。

11. SCORA総会

実施日：2025年3月8～9日

SCORA総会は、IFMSA-Japanに所属するSCORA Staffを対象とした1年間の活動の締めくくりとなるイベントです。SCORAの3つのプロジェクトがそれぞれテーマを設定し、ワークショップを実施しました。

STI Prevention Projectでは「プレコンセプションケア」の視点から感染症を捉えるワークショップを企画し、基礎知識のレクチャーとともに、ライフプランに基づいたグループディスカッションを実施しました。年代ごとの感染症リスクや対策について参加者同士で考えることで、より自分ごととして捉えるきっかけとなりました。

双方向的な学びのある有意義な機会となり、参加者のみならず、企画者に非常に学びの多いイベントとなりました。

活動の様子

※活動の様子、イベントまたは成果物などが分かる写真や説明書き、また団体ホームページ等のURLを掲載してください。

団体ホームページ：<https://ifmsa.jp/scora/>



さっぽろレインボープライドにてコンドーム等配布の様子



すこら喫茶店 札幌店にてディスカッションの様子



大三島ピアにてコンドームの装着練習をしている様子



エイズ文化フォーラムにて学生発表をしている様子



旭川ピアにてコンドームの配布をしている様子



SCORA総会にて感染症についてのレクチャーを受けている様子